

## 「米国IFA最新動向」

# 米国資産運用業界で台頭するIFA! 日本のIFAに相当するIBDを コミッションやフィーの構成、その歴史と今から見る!!

～IBDビッグスリーのLPLとアメリプライズとレイモンド・ジェームズ、フィー・オンリーに向かうコモンウェルスとケンブリッジ、保険会社のリンカーンとウッドベリー、そして、アドバイザーに革新的なモデルを提供するセトラ～

商品マーケティング企画部 松尾 健治  
窪田 真美

※三菱UFJ国際投信がお届けする、日本版ISAに関する情報を発信するコラムです。

## 米国資産運用業界で台頭する独立系ファイナンシャル・アドバイザー(IFA)

「近年、米国資産運用業界は、(1)インデックス・ファンド及びETFの台頭、(2)経費率の低いファンドに資金が流入する傾向、(3)独立系ファイナンシャル・アドバイザー(IFA)の台頭等、アクティブ運用を主体とする資産運用会社の経営を根底から揺るがすメガトレンドが観察される。」(2019年5月14日付野村資本市場クォーターリー2019年春号～URLは後述[参考ホームページ]①参照)と言う。

独立系ファイナンシャル・アドバイザー/Independent Financial Advisors/IFA については2019年3月18日付日本版ISAの道 その259「米国IFAから考える日本版IFAの道」で述べた通り(URLは後述[参考ホームページ]①参照)。米国のIFA関連会社が独立ブローカー・ディーラー/Independent Broker-Dealers ranked/IBDと投資顧問業者/Registered Investment Advisers/RIAとに分かれている事、米国のIFAがIBDで登録証券外務員/Registered Representative/Repとしてコミッション収入を得たり(IBDがSECもしくは州にアドバイザーの登録をしてIFAは二重登録アドバイザー/dually registered advisersとしてフィー収入を得たり)、RIAでIAR/Investment Advisor Representativeとしてフィー収入を得たり(RIAがハイブリッドRIA/Hybrid RIAとなつてIFAはコミッション収入を得たり)している事を説明した。RIAは最近何度も取り上げているので(2019年4月22日付日本版ISAの道 その263、2019年5月20日付日本版ISAの道 その265～URLは後述[参考ホームページ]①参照)、今回はIBDを個別の会社レベルまで、コミッションやフィーの構成、その歴史と今から見る事とする。



下記図表の通り、米国アドバイザーは「IBDが+867人増加で-662人減少(純増+205人)、RIAは+239人増加で-133人減少(純増+106人)。」(2019年5月20日付InvestmentNews～URLは後述[参考ホームページ]①参照)となっており、IBDの方が動きは大きい。米国ブローカー・ディーラーは「IBDがブローカー・ディーラーの中で最もこの5年で成長している。過去5年の成長率で+11%と、ワイヤハウス/4大証券会社の+6%の倍近く、銀行(ワイヤハウスを除く)やリージョナル・ブローカー・ディーラー(地方発の証券会社)の9%よりも伸びている。」(2018年11月28日付InvestmentNews～URLは後述[参考ホームページ]①参照)と言われている。



米国アドバイザーのチャンネル別 増加数、減少数、純増数  
\*2019年1月1日～5月20日

順位	アドバイザーのチャンネル	アドバイザー数		
		増加	減少	純増
1	独立ブローカー・ディーラー/Independent Broker-Dealers ranked/IBD系	+867	-662	+205
2	投資顧問業者/Registered Investment Advisers/RIA系	+239	-133	+106
3	リージョナル・ブローカー・ディーラー(地方発の証券会社)系	+251	-158	+93
4	銀行(ワイヤハウスを除く)系	+209	-208	+1
5	保険系	+148	-233	-85
6	ワイヤハウス/4大証券会社(フルサービス大手証券会社)系	+185	-419	-234
	合計	+1,899	-1,813	+86

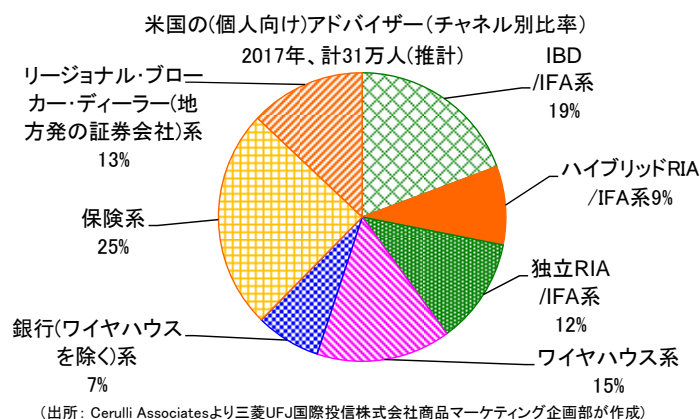
(出所: 2019年5月20日付InvestmentNewsより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)



米国アドバイザーの会社別 増加数、減少数(各々での上位5社)  
\*2019年1月1日～5月20日

順位	アドバイザーのチャネル	アドバイザーの会社	アドバイザー数
			増加/減少
1	IBD系	LPL Financial	+143
2	リージョナル・ブローカー・ディーラー系	Edward Jones	+71
3	IBD系(ワイヤハウス系でもある)	Wells Fargo	+70
4	IBD系(リージョナル・ブローカー・ディーラー系でもある)	Raymond James Financial Services Inc.	+67
5	IBD系	Ameriprise Financial Services Inc.	+62
…(略)…			
5	保険系	Questar Capital Corp.	-53
4	IBD系	LPL Financial	-66
3	ワイヤハウス系	Morgan Stanley	-95
2	ワイヤハウス系	Merrill Lynch	-106
1	ワイヤハウス系(IBD系でもある)	Wells Fargo	-122
合計			-

(出所: 2019年5月20日付InvestmentNewsより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)



## 日本の IFA に相当する米国の IBD 収入トップ 50～全体～

2019年4月24日付InvestmentNewsには「IBD 収入トップ 50/top independent broker-dealers ranked by revenue」と言う見出しの情報があった(URLは後述[参考ホームページ]②参照)。次頁図表は前年・前々年分データも含めてコミッションやフィーなど収入別にまとめたものだ(2019年4月24日付InvestmentNews、2018年4月21日付InvestmentNews、2017年4月23日付InvestmentNews～URLは後述[参考ホームページ]②参照)。尚、収入は年末までで、「その他収入」は「金利収入、ファイナンシャル・プランニング、コンサルティング、インベストメント・バンキング等」である。

合計で見て、コミッション収入が39%(←2017年42%←2016年47%)、フィー収入が45%(←2017年43%←2016年39%)、その他収入が16%(←2017年15%←2016年-)。IBDはそもそもコミッション収入の比率が高かったが、2017年にフィー収入に逆転され、その他収入の比率も上昇している(\*その他収入は2019年4月22日付日本版ISAの道その263、2019年5月20日付日本版ISAの道その265～URLは後述[参考ホームページ]①参照)。

図表の①はIBDビッグスリー(LPLファイナンシャル、アメリプライズ・ファイナンシャル・サービスズ、レイモンド・ジェームズ・ファイナンシャル・サービスズ)、②はフィー収入型代表(コモンウェルス・ファイナンシャル・ネットワーク、ケンブリッジ・インベストメント・リサーチ)、③はコミッション収入型(リンカーン・ファイナンシャル・ネットワーク、ウッドベリー・ファイナンシャル・サービスズ、リーダーズグループ)、そして④別会社型(セトラ・ファイナンシャル・グループ)。

米国の独立ブローカー・ディーラー/Independent Broker-Dealers/IBDの収入トップ50  
 ①…IBDビッグスリー、②…ファイアー収入型代表、③…コミッション収入型代表、④…別会社型代表

社名	2018年(2019年4月24日公表)				2017年			2016年			
	収入 (百万円) 下記※1参照	前年比(%)	内、 コミ ッション 収入 (%)	内、 フィー 収入 (%)	内、 その他 収入 (%) 下記※1 参照	内、 コミ ッション 収入 (%)	内、 フィー 収入 (%)	内、 その他 収入 (%) 下記※1 参照	内、 コミ ッション 収入 (%)	内、 フィー 収入 (%)	内、 その他 収入 (%) 下記※1 参照
1 LPLファイナンシャル	5,188.40	+21.18%	37%	35%	28%	33%	33%	28%	42%	32%	-
2 アメリプライズ・ファイナンシャル	4,804.00	+12.77%	25%	55%	20%	28%	55%	17%	34%	51%	-
3 レイモンド・ジェームズ・ファイナンシャル・サービスズ	2,410.00	+16.37%	28%	55%	17%	32%	50%	17%	36%	48%	-
4 コモンウェルス・ファイナンシャル・ネットワーク	1,425.31	+14.80%	16%	68%	15%	20%	64%	16%	26%	60%	-
5 ノースウェスタン・ミューチュアル・インベストメント・サービスズ	1,219.49	+17.88%	27%	65%	13%	24%	66%	10%	-	-	-
6 MMLインベストメント・サービスズ	1,126.61	+7.26%	60%	39%	0%	63%	35%	2%	65%	26%	-
7 アクサ・アドバイザーズ	913.77	+16.18%	69%	26%	5%	71%	25%	4%	74%	22%	-
8 ケンブリッジ・インベストメント・リサーチ	906.67	+11.74%	31%	56%	13%	32%	57%	11%	34%	55%	-
9 セキュリティー・アメリカ	803.50	+26.08%	39%	50%	11%	40%	49%	10%	43%	46%	-
10 リンカーン・ファイナンシャル・ネットワーク	782.43	+5.71%	63%	28%	9%	65%	26%	9%	72%	23%	-
11 セトラ・アドバイザーズ・ネットワーク	619.55	+8.75%	43%	40%	17%	45%	41%	14%	47%	40%	-
12 ロイヤル・アライアンス・アソシエイツ	603.93	+24.82%	40%	42%	18%	41%	42%	17%	40%	50%	-
13 ケストラ・ファイナンシャル	549.20	+15.52%	36%	55%	9%	39%	52%	9%	43%	47%	-
14 ワデル&リード・ファイナンシャル・アドバイザーズ	522.79	+9.69%	30%	50%	20%	36%	49%	14%	40%	46%	-
15 セージポイント・ファイナンシャル	405.71	+15.36%	47%	34%	19%	51%	31%	18%	55%	33%	-
16 ボヤ・ファイナンシャル・アドバイザーズ	397.09	-7.50%	48%	43%	9%	61%	34%	5%	64%	32%	-
17 ウッドベリー・ファイナンシャル・サービスズ	373.56	+30.81%	56%	26%	18%	63%	22%	16%	69%	21%	-
18 セキュリアン・ファイナンシャル・サービスズ	368.63	+6.17%	52%	37%	12%	54%	35%	12%	58%	31%	-
19 セトラ・アドバイザーズ	367.40	+4.61%	39%	45%	16%	43%	43%	13%	43%	44%	-
20 セトラ・ファイナンシャル・インスティテューションズ	340.71	+19.98%	64%	14%	22%	66%	12%	22%	71%	10%	-
21 リンカーン・インベストメント・プランニング	336.84	+8.76%	38%	59%	3%	39%	57%	3%	47%	50%	-
22 プリンシパル・セキュリティーズ	316.19	+5.50%	74%	25%	0%	78%	22%	0%	80%	20%	-
23 FSCセキュリティーズ	305.58	+8.70%	45%	36%	19%	49%	33%	19%	50%	40%	-
24 ファースト・アライド・セキュリティーズ	239.98	+3.68%	48%	33%	18%	52%	33%	16%	55%	30%	-
25 トライアド・アドバイザーズ	220.71	+20.03%	35%	56%	9%	36%	50%	14%	41%	51%	-
26 アメリカン・ポートフォリオ・ファイナンシャル・サービスズ	218.21	+14.76%	50%	50%	0%	52%	48%	0%	53%	47%	-
27 パークアベニュー・セキュリティーズ	213.71	+16.28%	58%	42%	0%	69%	27%	5%	-	-	-
28 Mホールディングス・セキュリティーズ(Mセキュリティーズ)	175.74	+6.18%	82%	15%	3%	82%	14%	4%	87%	11%	-
29 インデペンデント・ファイナンシャル・グループ	174.21	+25.08%	51%	42%	6%	55%	37%	8%	58%	34%	-
30 セトラ・ファイナンシャル・スペシャリスト	157.74	+9.38%	39%	50%	11%	42%	49%	9%	46%	46%	-
31 ケンタウルス・ファイナンシャル	155.85	+6.00%	73%	27%	0%	75%	25%	0%	76%	24%	-
32 サミット・ブローカレッジ・サービスズ	152.77	-5.66%	53%	32%	16%	54%	32%	14%	63%	25%	-
33 アメリタス・インベストメント	139.10	+2.05%	58%	34%	8%	60%	28%	12%	61%	26%	-
34 ゼネオス・ウェルス・マネジメント	132.29	+18.21%	25%	75%	3%	36%	60%	4%	49%	47%	-
35 ユナイテッド・プランナーズ・ファイナンシャル・サービスズ	131.92	+18.90%	39%	58%	3%	43%	57%	0%	54%	46%	-
36 セキュリティーズ・サービス・ネットワーク	129.15	+9.24%	38%	50%	11%	41%	49%	10%	47%	42%	-
37 ホーナー・タウンゼント&ケント	124.17	+15.82%	66%	30%	4%	-	-	-	-	-	-
38 KMSファイナンシャル・サービスズ	122.78	+13.25%	38%	50%	12%	-	-	-	44%	50%	-
39 J.W.コール・ファイナンシャル	121.44	+16.10%	66%	34%	0%	70%	30%	0%	73%	27%	-
40 シグマファイナンシャル	117.50	+17.76%	57%	38%	5%	57%	38%	5%	-	-	-
41 プロエクイティーズ	117.12	+7.18%	62%	33%	5%	62%	27%	10%	66%	24%	-
42 H.ベック	116.89	+1.91%	64%	30%	6%	66%	28%	6%	-	-	-
43 トランスアメリカ・ファイナンシャル・アドバイザーズ	109.33	+16.54%	88%	15%	0%	79%	16%	5%	68%	25%	-
44 インベスタコップ	104.68	+13.69%	59%	27%	14%	62%	25%	13%	65%	24%	-
45 プランメンバー・セキュリティーズ	97.31	+13.62%	26%	74%	1%	30%	70%	1%	-	-	-
46 コバック・セキュリティーズ	79.35	+6.40%	52%	45%	3%	50%	44%	6%	-	-	-
47 O.N.エクイティ・セールス	77.10	+22.71%	83%	17%	0%	82%	18%	0%	-	-	-
48 パークランド・セキュリティーズ	63.40	+19.12%	69%	27%	4%	-	-	-	-	-	-
49 リーダーズグループ	61.04	+29.92%	100%	0%	0%	-	-	-	-	-	-
50 ザ・インベストメント・センター	56.70	+12.70%	51%	42%	7%	-	-	-	-	-	-
合計	28,697.54	+13.04%	39%	45%	16%	42%	43%	15%	47%	39%	-

※1: 収入は年末までで、「その他収入」は、金利収入のほか、ファイナンシャル・プランニング、コンサルティング、インベストメント・バンキング等を含む。  
 (出所: InvestmentNewsより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

## IBD 収入トップ 50～IBD ビッグスリーの LPL とアメリプライズとレイモンド・ジェームズ～

まず①IBD ビッグスリー(LPL ファイナンシャル、アメリプライズ・ファイナンシャル、レイモンド・ジェームズ・ファイナンシャル・サービスズ)を見る。

### <LPL ファイナンシャル/LPL Financial>

IBD 最大の LPL ファイナンシャル/LPL Financial だが、1989 年に「小さな証券会社/small brokerage firms」(LPL の HP より)だったマサチューセッツ州のリンスコ/Linsco(1968 年設立)とカリフォルニア州のプライベート・レッジャー/Private Ledger(1973 年設立)が合併して設立された会社である(2008 年に RIA カストディアンにも参入)。LPL ファイナンシャルは(同じビッグスリーの)アメリプライズ・ファイナンシャル/Ameriprise Financial やレイモンド・ジェームズ/Raymond James と違い、直接雇用せず、支店を持たない。歩合報酬率が 80%近く(I.C.でないと 40%近く)と言う独立自営業者/Independent Contractor/I.C.のアドバイザーを雇い拡大してきた。2018 年末で 16109 人のアドバイザー(登録証券外務員/Registered Representative/Rep)を抱える(InvestmentNews「Broker-dealer Data Center」～URL は後述[参考ホームページ]②参照)。(同じビッグスリーの)アメリプライズやレイモンド・ジェームズを大きく上回り、ワイヤハウス/4 大証券会社(モルガン・スタンレー/Morgan Stanley、メリル・リンチ/Merrill Lynch、

ウェルズ・ファーゴ・アドバイザー、UBS)に匹敵する(UBS の倍以上)。

ただ、最近 2019 年 5 月 22 日に LPL ファイナンシャルが買収したフロリダの Allen & Co.(アドバイザー30 人&預り残高 30 億ドルの小さなブローカー)でその会社の業務とブランドを維持すべく直接アドバイザーを雇う新しいモデルを作る事を発表している(URL は後述[参考ホームページ]②参照)。LPL ファイナンシャルは「戦略の新しい部分は新しくユニークな雇用モデル『独立心のあるアドバイザー/independent-minded advisors』で、コミッション収入に反対する多くのアドバイザーに魅力となる。」と言っている。だが、「LPL ファイナンシャルの新しいモデルは、既に I.C.と直接雇用の双方を持つ/dual models のレイモンド・ジェームズ/Raymond James やアメリプライズ・ファイナンシャル/Ameriprise Financial に追随するものでもある。」(2019 年 5 月 22 日付 InvestmentNews~URL は後述[参考ホームページ]②参照)とも言われている。

LPL ファイナンシャルはコミッション収入が 37%と平均 39%より僅かに低く(←2017 年 39%←2016 年 42%)、フィー収入が 35%と平均 45%よりかなり低く(←2017 年 33%←2016 年 32%)、その他収入が 28%と平均 16%よりかなり高い(←2017 年 28%←2016 年-%)。LPL ファイナンシャルも平均同様、2016 年までコミッション収入の比率がフィー収入より高かったが、その後、フィー収入の比率を高めている。ただその上昇は緩やかで、その他収入の比率を高くしている様に見える。尚、その他収入は「金利収入、ファイナンシャル・プランニング、コンサルティング、インベストメント・バンキング等」である(その他収入については 2019 年 4 月 22 日付日本版 ISA の道 その 263、2019 年 5 月 20 日付日本版 ISA の道 その 265~URL は後述[参考ホームページ]①参照)。

#### <アメリプライズ・ファイナンシャル・サービシズ/Ameriprise Financial Services>

ついでアメリプライズ・ファイナンシャル・サービシズ/Ameriprise Financial Services だが、1894 年にジョン・タッパン/John Tappan 氏が Investors Syndicate(その後 Investors Diversified Services/IDS)を設立、1983 年に American Express(AMES)に買収され、2005 年に AMEX から独立した。2010 年にバンカメから傘下の運用会社 コロンビア・マネジメント/Columbia Management を買収、2015 年に英国の完全子会社スレッドニードル/Threadneedle Asset Management と提携、「コロンビア・スレッドニードル・インベストメンツ/Columbia Threadneedle Investments」と言うグローバル・ブランドの運用会社を立ち上げた会社でもある。

2019 年 5 月 13 日に米運用会社ソルト・ファイナンシャル/Salt Financial が史上初のネガティブ・フィー・ファンドの承認を得た事が発表されて話題となったが(2019 年 5 月 20 日付日本版 ISA の道 その 265~URL は後述[参考ホームページ]①参照)、「2017 年にコロンビア・スレッドニードルが 3 カ月間の信託報酬ゼロ%の ETF を設定した事はある。」(2019 年 2 月 25 日付 Business Insider「SoFi plans first no-fee exchange-traded-funds」…  
「<https://www.businessinsider.com/sofi-plans-first-no-fee-exchange-traded-funds-2019-2>」~URL は後述[参考ホームページ]②参照)。

2018 年末で 7755 人のアドバイザー(登録証券外務員/Registered Representative/Rep)を抱える (InvestmentNews「Broker-dealer Data Center」~URL は後述[参考ホームページ]②参照)。

アメリプライズ・ファイナンシャルはコミッション収入が 25%と平均 39%よりかなり低く(←2017 年 28%←2016 年 34%)、フィー収入が 55%と平均 45%よりかなり高く(←2017 年 55%←2016 年 51%)、その他収入が 20%と平均 16%より少し高い(←2017 年 17%←2016 年-%)。アメリプライズ・ファイナンシャルは 2016 年で既にフィー収入の比率が半分を超えており、その後も上昇している。

◀レイモンド・ジェームズ・ファイナンシャル・サービシーズ/Raymond James Financial Services▶

レイモンド・ジェームズ・ファイナンシャル・サービシーズ/Raymond James Financial Services であるが、1963年にレイモンド・アソシエイツとジェームズ・インベストメントツが合併して設立された。伝統的支店やアドバイザー1人の拠点を持ち、社内外務員、社内高歩合報酬率外務員、社外外務員、社外(ハイブリッド)RIA、社外 RIA、社外銀行等外務員(TPM/Third-Party Marketers、レイモンド・ジェームズの商品・サービス・コンプライアンス)と多様なチャネルを持ち、アドバイザー数を増やしている。IBD 同様、RIA カストディアンもしている。

2019年3月14日に2019年J.D.パワー/J.D. Power「米国フルサービス投資家満足度調査/U.S. Full Service Investor Satisfaction Study」(\*フルサービス証券会社等に対する顧客の満足度<アドバイザー、口座情報、パフォーマンス、交流、商品、手数料、情報、問題解決>~URLは後述[参考ホームページ]②参照)が発表され、IBDビッグスリーではアメリプライズ・ファイナンシャルが7位に上昇(2018年12位)、LPLファイナンシャルは17位に低下(2018年7位)、レイモンド・ジェームズは9位のままとなった。

2019年J.D.パワー/J.D. Power「米国フルサービス投資家満足度調査/U.S. Full Service Investor Satisfaction Study」  
\*フルサービス証券会社等に対する顧客の満足度(アドバイザー、口座情報、パフォーマンス、交流、商品、手数料、情報、問題解決)。  
…独立ブローカー・ディーラー/Independent Broker-Dealers ranked/IBD。

2019年J.D.パワー米国投資フルサービス顧客満足度調査 2019年3月14日発表					2018年J.D.パワー米国投資フルサービス顧客満足度調査 2018年3月29日発表				
順位	社名	レーティング (1000 ポイント満点)		順位	社名	レーティング (1000 ポイント満点)		順位	ポイント
		前年 順位	ポイント			前年 順位	ポイント		
1	エドワード・ジョーンズ/Edward Jones *2018年2位、2017年3位、2016年2位、2015年1位(2社)。	853	2	866	1	チャールズ・シュワブ/Charles Schwab *2016年から3年連続1位。2015年3位2社)。	867	1	838
2	RBCウェルズ・マネジメン /RBC Wealth Management	848	4	863	2	エドワード・ジョーンズ/Edward Jones *2017年3位、2016年2位、2015年1位(2社)。	866	3	833
3	アドバイザー・グループ(AIGアドバイザー・グループ) /Advisor Group(AIG Advisor Group)	846	18	800	3	シュティフェル・ニコラウス /Stifel, Nicolaus	865	6	826
4	モルガン・スタンレー・ウェルズ・マネジメン /Morgan Stanley Wealth Management	844	15	821	4	RBCウェルズ・マネジメン /RBC Wealth Management	863	11	814
5	チャールズ・シュワブ/Charles Schwab *2016年~2018年3年連続1位。	842	1	867	5	メリル・リンチ・ウェルズ・マネジメン /Merrill Lynch Wealth Management	852	9	818
6	UBSファイナンシャル・サービシーズ /UBS Financial Services	840	8	851	6	フィデリティ・インベストメンツ/Fidelity Investments *2017年2位、2016年3位、2015年1位(2社)。	851	2	835
7	アメリプライズ・ファイナンシャル /Ameriprise Financial	838	12	828	7	LPLファイナンシャル /LPL Financial	851	13	809
8	フィデリティ・インベストメンツ/Fidelity Investments *2017年2位、2016年3位、2015年1位(2社)。	836	6	851	8	UBSファイナンシャル・サービシーズ /UBS Financial Services	851	5	827
9	レイモンド・ジェームズ・ファイナンシャル /Raymond James Financial	836	9	842	9	レイモンド・ジェームズ・ファイナンシャル /Raymond James Financial	842	8	819
	業界平均	835		839	10	ノースウェスタン・ミューチュアル /NorthWestern Mutual	839	18	778
10	ウェルズ・ファーゴ・アドバイザーズ /Wells Fargo Advisors	829	16	814		業界平均	839		819
11	シュティフェル・ニコラウス /Stifel, Nicolaus	827	3	865	11	チェース /Chase	838	14	807
12	チェース /Chase	826	11	838	12	アメリプライズ・ファイナンシャル /Ameriprise Financial	828	10	817
13	メリル・リンチ・ウェルズ・マネジメン /Merrill Lynch Wealth Management	825	5	852	13	アクサ・アドバイザーズ /AXA Advisors	824	20	772
14	ノースウェスタン・ミューチュアル /NorthWestern Mutual	820	10	839	14	PNCウェルズ・マネジメン /PNC Wealth Management	824	12	810
15	シティグループ /Citigroup	820	17	811	15	モルガン・スタンレー・ウェルズ・マネジメン /Morgan Stanley Wealth Management	821	16	801
16	リンカーン・ファイナンシャル・ネットワーク /Lincoln Financial Network	820			16	ウェルズ・ファーゴ・アドバイザーズ /Wells Fargo Advisors	814	7	824
17	LPLファイナンシャル /LPL Financial	814	7	851	17	シティグループ /Citigroup	811	15	805
18	アクサ・アドバイザーズ /AXA Advisors	797	13	824	18	AIGアドバイザー・グループ /AIG Advisor Group	800		

(出所: J.D.パワー/J.D. Powerより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

「レイモンド・ジェームズは同社のプライベート・クライアント・グループ/Private Client Group 部門でファイナンシャル・アドバイザー/financial advisers を惹き付け続けている。マーケット乱高下を受けた2019年1~3月もアドバイザー数を47人増とし、今も同社で働きたいアドバイザーは多いと言う。2019年3月31日の預り残高は7600億<sup>ドル</sup>と過去最高を更新した。」(2019年4月25日付InvestmentNews~URLは後述[参考ホームページ]②参照)と言われている。

2018年末で6433人のアドバイザー(登録証券外務員/Registered Representative/Rep)を抱える(InvestmentNews「Broker-dealer Data Center」~URLは後述[参考ホームページ]②参照)。2019年4月24日にレイモンド・ジェームズは2019年3月31日までの決算を公表しており(URLは後述[参考ホームページ]②参照)、2019年3月31日現在のアドバイザーは7862人(3カ月+47人、1年+258人)となっている。その内、社内外務員は3192人(3カ月+26人、1年+139人)、独立自営業者/I.C.は4670人(3カ月+21人、1年+119人)である。2019年3月31日の預り残高は7600億<sup>ドル</sup>(3カ月+693億<sup>ドル</sup>、1年+652億<sup>ドル</sup>)と過去最高を更新、内、フィー・ベースド口座は3784億<sup>ドル</sup>(3カ月+396億<sup>ドル</sup>、1年+533億<sup>ドル</sup>)、コミッション・ベースド口座等は3816億<sup>ドル</sup>(3カ月+297億<sup>ドル</sup>、1年+119億<sup>ドル</sup>)。

レイモンド・ジェームズはコミッション収入が28%と平均39%よりかなり低く(←2017年32%←2016年36%)、フィー収入が55%と平均45%よりかなり高く(←2017年50%←2016年48%)、その他収入が17%とほぼ平均16%(←2017年17%←2016年-)。レイモンド・ジェームズは2017年で既にフィー収入の比率が半分を超えており、その後も上昇している。

## IBD 収入トップ 50~フィー・オンリーに向かうコモンウェルスとケンブリッジ~

⑧フィー収入型代表(コモンウェルス・ファイナンシャル・ネットワーク、ケンブリッジ・インベストメント・リサーチ)を見る。

### <コモンウェルス・ファイナンシャル・ネットワーク/Commonwealth Financial Network>

コモンウェルス・ファイナンシャル・ネットワーク/Commonwealth Financial Networkだが、1979年設立で、マサチューセッツ州とカリフォルニア州に本社オフィスを持つ。現在の会長でもあるジョセフ・ダイチ/Joseph Deitch氏(68歳)が創設者だが、ダイチ氏は1974年から2つの生命保険会社(Mass IndemnityとNew England Life)に3~4年勤め、1978年にファイナンシャル・プランニング会社でアドバイザー会社のケンブリッジ・グループ/Cambridge Groupを設立、その後、1979年にIBDのコモンウェルス・エクイティ・サービシーズ/Commonwealth Equity Services(現ファイナンシャル・ネットワーク)を設立する。1988年にケンブリッジ・グループを去り、コモンウェルスに専念する。尚、ダイチ氏が設立して去ったケンブリッジ・グループは後述のケンブリッジ・インベストメント・リサーチ/Cambridge Investment Researchとは違う(現在あるケンブリッジ・グループは1975年にイリノイ州で設立された経営コンサルティング会社)。

現在1778人の独立系アドバイザーとそれを支援する854人のスタッフ、計2632人の従業員がいると言う(URLは後述[参考ホームページ]③参照)。ただ、一方で2018年末で2258人のアドバイザー(登録証券外務員/Registered Representative/Rep)を抱えるとも言える(InvestmentNews「Broker-dealer Data Center」~URLは後述[参考ホームページ]②参照)。

2018年6月28日に、2018年J.D.パワー/J.D. Power「米国ファイナンシャル・アドバイザー満足度/U.S. Financial Advisor Satisfaction Study」(\*所属する会社もしくは提携する会社に対するアドバイザーの満足度<会社のサポート、報酬、リーダーシップ、問題解決、研修>~URLは後述[参考ホームページ]③参照)が発表され、コモンウェルス・ファイナンシャルは堂々の1位となった(\*3位に後述するケンブリッジ・インベストメント・リサーチ、4位に後述するセトラ・ファイナンシャル・グループ)。

2018年J.D.パワー/J.D. Power「米国ファイナンシャル・アドバイザー満足度/U.S. Financial Advisor Satisfaction Study」  
\*所属する会社もしくは提携する会社に対するアドバイザーの満足度(会社のサポート、報酬、リーダーシップ、問題解決、研修)。  
…独立ブローカー・ディーラー/Independent Broker-Dealers ranked/IBD。

従業員アドバイザー/employee advisors 2018年6月28日発表					独立自営業者アドバイザー/independent advisors 2018年6月28日発表				
順位	社名	レーティング (1000ポイント満点)		順位	社名	レーティング (1000ポイント満点)		順位	
		前年 順位	ポイント			前年 順位	ポイント		
1	エドワード・ジョーンズ/Edward Jones *2018年2位、2017年3位、2016年2位、2015年1位(2社)。	909	1	925	1	コモンウェルス・ファイナンシャル /Commonwealth Financial	955	-	-
2	レイモンド・ジェームズ・ファイナンシャル /Raymond James Financial	857	2	867	2	レイモンド・ジェームズ・ファイナンシャル /Raymond James Financial	865	-	-
3	シュティーフエル・ニコラウス /Stifel, Nicolaus	841	-	-	3	ケンブリッジ・インベストメント・リサーチ /Cambridge Investment Research	864	-	-
4	アメリプライズ・ファイナンシャル /Ameriprise Financial	740	3	731	4	セトラ・ファイナンシャル・グループ /Cetera Financial Group	806	-	-
	業界平均	726			5	アメリプライズ・ファイナンシャル /Ameriprise Financial	799	-	-
5	UBSファイナンシャル・サービスズ /UBS Financial Services	707	4	730		業界平均	753	-	-
6	メリル・リンチ・ウェルス・マネジメント /Merrill Lynch Wealth Management	697	5	682	6	アドバイザー・グループ(AIGアドバイザー・グループ) /Advisor Group(AIG Advisor Group)	751	-	-
7	モルガン・スタンレー・ウェルス・マネジメント /Morgan Stanley Wealth Management	682	6	646	7	LPLファイナンシャル /LPL Financial	707	-	-
8	ウェルズ・ファーゴ・アドバイザーズ /Wells Fargo Advisors	618	7	607					

(出所: J.D.パワー/J.D. Powerより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

コモンウェルス・ファイナンシャルはコミッション収入が16%と平均39%の半分も無く(←2017年20%←2016年26%)、フィー収入が68%と平均45%よりかなり高く(←2017年64%←2016年60%)、その他収入が15%と平均16%とほぼ同じである(←2017年16%←2016年-)。コモンウェルス・ファイナンシャルは2016年で既にフィー収入の比率が半分以上を超えており、その後も上昇している。フィーへの傾倒が強く、「コモンウェルス・ファイナンシャルがRIAカスタディアンに進出、チャールズ・シュワブ/Charles Schwab やTD アメリトレード/TD Ameritradeと競合。ケンブリッジ・インベストメント・リサーチ/Cambridge Investment Researchもフィー・オンリーに焦点。」(2018年11月9日&2018年11月13日付InvestmentNews~ URLは後述[参考ホームページ]③参照)と言われている。

### <ケンブリッジ・インベストメント・リサーチ/Cambridge Investment Research>

ケンブリッジ・インベストメント・リサーチ/Cambridge Investment Researchは1981年設立で、アイオワ州に本社オフィスを持つ。現在の経営執行役会長であるエリック・シュワルツ/Eric Schwartz氏(65歳)が1981年にアイオワ州に創立したIBDである。3327人の独立系ファイナンシャル・アドバイザー/Independent Registered Representativesとそれを支援する816人のスタッフがいる(URLは後述[参考ホームページ]③参照)と言われるが、2018年末で4155人のアドバイザー(登録証券外務員/Registered Representative/Rep)を抱える(InvestmentNews「Broker-dealer Data Center」~URLは後述[参考ホームページ]②参照)とも言われる。ケンブリッジ・インベストメント・リサーチ・アドバイザーズ/Cambridge Investment Research Advisorsと言うRIAと合わせケンブリッジ・インベストメント・グループ/Cambridge Investment Groupとなる。

ケンブリッジ・インベストメント・リサーチはコミッション収入が31%と平均39%より低く(←2017年32%←2016年34%)、フィー収入が56%と平均45%より高く(←2017年57%←2016年55%)、その他収入が13%と平均16%より少し低い(←2017年11%←2016年-)。ケンブリッジ・インベストメント・リサーチは2016年で既にフィー収入の比率が半分を超えており、その後は横這いである。

## IBD 収入トップ 50～保険会社のリンカーンとウッドベリー～

©コミッション収入型(リンカーン・ファイナンシャル・ネットワーク、ウッドベリー・ファイナンシャル・サービシーズ)も見る。

### <リンカーン・ファイナンシャル・ネットワーク/Lincoln Financial Network>

リンカーン・ファイナンシャル・ネットワーク/Lincoln Financial Network だが、1905年から存在する米保険大手リンカーン・ナショナル・ライフ・インシュランス/Lincoln National Life Insurance 等リンカーン・ファイナンシャル・グループ/Lincoln Financial Group の会社である。「人民の人民による人民の為の政治」で有名な大統領エイブラハム・リンカーン/Abraham Lincoln の長男ロバート・トッド・リンカーン/Robert Todd Lincoln 元陸軍長官から1905年に社名や肖像等の利用を許されて付けられた名前である(写真はリンカーン・ファイナンシャル・ネットワークのHPより)。



2018年末で1440人のアドバイザー(登録証券外務員/Registered Representative/Rep)を抱える(InvestmentNews「Broker-dealer Data Center」～URLは後述[参考ホームページ]②参照)。

リンカーン・ファイナンシャル・ネットワークはコミッション収入が63%と平均39%よりかなり高く(←2017年65%←2016年72%)、フィー収入が28%と平均45%よりかなり低く(←2017年26%←2016年23%)、その他収入が9%と平均16%より低い(←2017年9%←2016年-)。

### <ウッドベリー・ファイナンシャル・サービシーズ/Woodbury Financial Services>

次にウッドベリー・ファイナンシャル・サービシーズ/Woodbury Financial Services であるが、ここは1919年から存在する米保険大手AIG傘下の会社である。

2018年末で2054人のアドバイザー(登録証券外務員/Registered Representative/Rep)を抱える(InvestmentNews「Broker-dealer Data Center」～URLは後述[参考ホームページ]②参照)。



ウッドベリー・ファイナンシャル・サービシズはコミッション収入が56%と平均39%よりかなり高く(←2017年63%←2016年69%)、フィー収入が26%と平均45%よりかなり低く(←2017年22%←2016年21%)、その他収入が18%と平均16%より少し高い(←2017年16%←2016年-)。

リンカーンもウッドベリーもコミッション収入がかなり高く、共に保険会社傘下と言う所が共通する。先述図表「米国のIBD収入トップ50」で6位のMMLインベストメント・サービシズ/MML Investors Servicesはマス・ミュチュアル/MassMutualと言う保険会社傘下でコミッション収入が60%ある。同7位のアクサ・アドバイザーズ/AXA AdvisorsはAXAエクイタブル/AXA Equitableと言う保険会社傘下でコミッション収入が69%もある。保険会社傘下のIBDはコミッションが中心の様でもある。



だが、ノースウェスタン・ミュチュアル・インベストメント・サービシズ/Northwestern Mutual Investment Servicesはノースウェスタン・ミュチュアル/Northwestern Mutualと言う保険会社傘下だが、コミッション収入は27%しかない。さらに先述したフィー型代表のファイナンシャル・ネットワーク会長ジョセフ・ダイチ/Joseph Deitch氏(68歳)も保険会社出身である。

「保険会社傘下のIBDは親会社のプロダクトを販売する会社で、独立系である為の柔軟性も顧客本位/the flexibility and client focusが無く、『保険会社傘下のIBDモデルは死んだ』と言う意見がある。しかし顧客の誰が、株主が保険会社である事を気にするのか？顧客に世界クラスのサービスを提供する限り、競争力は維持される。逆にIBDが専用プロダクトやサービスの提供/proprietary offerings or services(インハウスのモデル・ポートフォリオ)をする現実もある。」(2018年3月23日付Wealth Management~URLは後述[参考ホームページ]④参照)と言うが、保険会社傘下のIBDもまたコミッション中心からフィー中心に向かっていきそうである。

## IBD収入トップ50~アドバイザーに革新的なモデルを提供するセトラ~

最後に①別会社型(セトラ・ファイナンシャル・グループ)を見る。

### <セトラ・ファイナンシャル・グループ/Cetera Financial Group>

セトラ・ファイナンシャル・グループ/Cetera Financial Groupは2010年にオランダの保険会社を中心とするINGグループ/ING Groupが売却したブローカー・ディーラー3社、(1)ファイナンシャル・ネットワーク・インベストメント/Financial Network Investment(現セトラ・アドバイザー・ネットワーク/Cetera Advisor Networks)、(2)マルチ・ファイナンシャル・セキュリティーズ/Multi-Financial Securities(現セトラ・アドバイザーズ/Cetera Advisors)、(3)プライムベスト・ファイナンシャル・サービシズ/PrimeVest Financial Services(現セトラ・ファイナンシャル・インスティテューションズ/Cetera Financial Institutions)により2010年設立された会社のグループである。

2012年に保険会社傘下のジェンワース・ファイナンシャル・インベストメント・サービシズ/Genworth Financial Investment Services(現セトラ・ファイナンシャル・スペシャリスト/Cetera Financial Specialists)を加えて4社体制となった。2013年1月2日にかけて現在のセトラを冠する名に変更されている(URLは後述[参考ホームページ]③参照)。

2018 年末でのアドバイザー(登録証券外務員/Registered Representative/Rep~InvestmentNews「Broker-dealer Data Center」~URL は後述[参考ホームページ]②参照)は次の通り。

セトラ・アドバイザー・ネットワーク/Cetera Advisor Networks(旧ファイナンシャル・ネットワーク・インベストメント/Financial Network Investment)は 2866 人、セトラ・アドバイザーズ/Cetera Advisors(旧マルチ・ファイナンシャル・セキュリティーズ/Multi-Financial Securities)は 1289 人、セトラ・ファイナンシャル・インスティテューションズ/Cetera Financial Institutions(旧プライムベスト・ファイナンシャル・サービシーズ/PrimeVest Financial Services)は 1905 人、セトラ・ファイナンシャル・スペシャリスト/Cetera Financial Specialists(旧ジェンワース・ファイナンシャル・インベストメント・サービシーズ/Genworth Financial Investment Services)は 1178 人、4 社計 7238 人のアドバイザー(登録証券外務員/Registered Representative/Rep)を抱える(InvestmentNews「Broker-dealer Data Center」~URL は後述[参考ホームページ]②参照)。現在は 6 社体制で 8000 人近くのアドバイザーを抱えていると言う(2019 年 2 月 19 日付 InvestmentNews~URL は後述[参考ホームページ]⑤参照)。2018 年末で 1440 人のアドバイザー(登録証券外務員/Registered Representative/Rep)を抱える(InvestmentNews「Broker-dealer Data Center」~URL は後述[参考ホームページ]②参照)。先述の IBD ビッグスリーの LPL(16109 人)の半分近くで、アメリカプライズ(7755 人)とレイモンド・ジェームズ(6433 人)に相当(超える)レベルである。

セトラ・アドバイザー・ネットワークはコミッション収入が 43%と平均 39%より少し高く(←2017 年 45%←2016 年 47%)、フィー収入が 40%と平均 45%より少し低く(←2017 年 41%←2016 年 40%)、その他収入が 17%と平均 16%とほぼ同じ(←2017 年 14%←2016 年-%)。セトラ・アドバイザーズはコミッション収入が 39%と平均 39%と同じ(←2017 年 43%←2016 年 43%)、フィー収入が 45%と平均 45%と同じ(←2017 年 43%←2016 年 44%)、その他収入が 16%と平均 16%と同じ(←2017 年 13%←2016 年-%)。セトラ・ファイナンシャル・インスティテューションズはコミッション収入が 64%と平均 39%よりかなり高く(←2017 年 66%←2016 年 71%)、フィー収入が 14%と平均 45%よりかなり低く(←2017 年 12%←2016 年 10%)、その他収入が 22%と平均 16%より高い(←2017 年 22%←2016 年-%)。セトラ・ファイナンシャル・スペシャリストはコミッション収入が 39%と平均 39%と同じで(←2017 年 42%←2016 年 46%)、フィー収入が 50%と平均 45%より高く(←2017 年 49%←2016 年 46%)、その他収入が 11%と平均 16%より低い(←2017 年 9%←2016 年-%)。

歴史以外に何が違うのか。それは次の発表を読むとわかる。

「セトラ・ファイナンシャル・グループはアドバイザーに革新的なモデルを提供する/progressive model provides advisors。賞を取るウェルス・マネジメント・リソース/award-winning wealth management resources、優れたテクノロジー/superior technology、世界クラスのカスタマーサービス/world-class customer service を適合させ、関係を構築するものだ。もしアドバイザーがセトラ・ファミリー/Cetera family に入れば、彼も彼女もカルチャーや価値観に合った会社を選ぶ事が出来、そこで最善のビジネスが出来る。例えば、セトラ・アドバイザー・ネットワーク/Cetera Advisor Networks(旧ファイナンシャル・ネットワーク・インベストメント/Financial Network Investment)は地方で皆が団結して働くアドバイザーのサポートに優れている。セトラ・アドバイザーズ/Cetera Advisors(旧マルチ・ファイナンシャル・セキュリティーズ/Multi-Financial Securities)は、より起業家/アントレプレナー/entrepreneur 的なアドバイザーのサポートに優れている。」(2013 年 1 月 2 日付 Cetera Advisor Networks~URL は後述[参考ホームページ]⑤参照)。

こうしたセトラ・ファイナンシャル・グループの戦略は、IBD 最大の LPL ファイナンシャル/LPL Financial からアドバイザーや資産を移し拡大している。「2018年3月14日、米カーソン・グループ/Carson Group 創設者・CEO のロン・カーソン/Ron Carson 氏は48社のパートナーに『私は現在使っているブローカー・ディーラーのセトラ・ファイナンシャル・グループ/Cetera Financial Group がもしLPL ファイナンシャルに買収されてLPLの一部になるのなら、自分の53億ドルビジネスをセトラ以外のどこか別のブローカー・ディーラーに移す準備をする。』と通知した。カーソン氏はLPLとの28年の後に、14カ月前にセトラに移している。カーソン氏はInvestmentNewsの取材に対し、『セトラはいつもベストだった。セトラとの関係はとても良い。私はセトラが好きだ。』と言う。そして『LPLの人間から聞いたが、サービスがかなり低下している。』と言う。」2018年3月14日付InvestmentNews「Cetera Ron Carson: I'll leave Cetera if it's sold to LPL」～URLは後述[参考ホームページ]⑤参照。

カーソン・グループ創設者・CEO のロン・カーソン氏は1983年8月に米国のネブラスカ州オマハにCarson Wealth Management Groupを創設、1993年にCarson Group Coaching、2012年にCarson Group Partnersを創設、今、米国で最大のウェルス・アドバイザー会社の一つとなっている。LPLからセトラに移った時もInvestmentNewsに報じられている(2017年1月22日付InvestmentNews～URLは後述[参考ホームページ]⑤参照)。セトラのCEOだったロバート・ムーア/Robert Moore氏は2012年5月から2015年3月までLPLの社長であり、カーソン氏はLPLの社長になる事を期待していた。しかしそれがかなわず、ムーア氏は2016年9月からセトラの社長となり、カーソン氏も追随した。その後、LPLからのアドバイザー離脱が増えた。

LPLと言うと、かつては「営業担当者をいわば『顧客』とみなし、マルチ・チャネル戦略や技術・システム開発など、彼らにとってより使い勝手が良いサービスを提供することで、10,000名を超える営業担当者をひきつけることが可能となった。」(2010年5月8日付野村資本市場クォーターリー 2010年春号～URLは後述[参考ホームページ]⑤参照)と言われていたが、その後数年で逆の立場となっている。ただセトラのCEOだったムーア氏も2019年3月31日付で健康上の都合でCEOを退任している。引き続きアドバイザーとして尽くすそうであるが、どうなるか(2019年2月19日付InvestmentNews～URLは後述[参考ホームページ]⑤参照)。

尚、現在、シュワブのサブスクリプション・フィー・モデル/subscription-fee modelが米国で話題となっている(2019年4月22日付日本版ISAの道 その263～URLは後述[参考ホームページ]⑤参照)、そもそもはXYプランニング・ネットワーク/XY Planning Networkやこのセトラが先である(2019年5月20日付日本版ISAの道 その265～URLは後述[参考ホームページ]⑤参照)。シュワブやバンガード、フィデリティなどと違い、日本ではほとんど聞かない会社だが、先述した通り、「セトラはアドバイザーに革新的なモデルを提供する」会社である。注目が欠かせない。

以上だが、世界最大の独立系ファイナンシャル・アドバイザー/Independent Financial Advisors/IFA 大国でもある米国のIFA、特に日本のIFAに相当するIBDを見る事は、米国を範とする日本のIFA業界、もちろん金融・証券業界にとっても大いなるヒントを与えてくれるものである。

2019年6月5日には、米国のIFAにも多大な影響を与えるSECルール(の最善の利益規制/Regulation Best Interest/Reg BI)が発表・採決される予定である(2019年5月23日付SECホームページ、2019年3月25日付日本版ISAの道 その260～URLは後述[参考ホームページ]⑤参照)。米国のIFA及び金融規制の最新動向、引き続きしっかり見ていきたい。

以上

[参考ホームページ]

①2019年5月14日付野村資本市場クォーターリー 2019年春号「フィデリティの信託報酬ゼロ戦略と米国資産運用業界のメガトレンド」…「<http://www.nicmr.com/nicmr/report/repo/2019/2019spr09.html>」

2019年3月18日付日本版ISAの道 その259「米国IFAから考える日本版IFAの道～米国アドバイザーはコミッションからフィーへ、独立へとシフトしており、IFAでは独立RIAが増加中! IFAからの人気の高い投信はバンガードとディメンショナル/DFA!!～」の※2 米国のIFA及び米国のIFAと日本のIFAとの違…

「[https://www.am.mufg.jp/text/oshirase\\_190318.pdf](https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_190318.pdf)」

2019年4月22日付日本版ISAの道 その263「アドバイザーのフィーにサブスクリプション(リテイナー)・フィー!? 革新を生んだ『ウォール街のメーデー』に匹敵するシュワブの戦略～バンガード vs フィデリティ vs シュワブ～」

([https://www.am.mufg.jp/text/oshirase\\_190422.pdf](https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_190422.pdf))…「[https://www.am.mufg.jp/text/oshirase\\_190422.pdf](https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_190422.pdf)」

2019年5月20日付日本版ISAの道 その265「『米国ウェルスマネジメント最新動向』～史上初のネガティブ・フィー・ファンド! フィデリティがインハウスで貸株!! モデル・ポートフォリオにモーニングスターが参入しバンガード・フィデリティ・ブラックロックが参加!!! コスト低下やFD強化の流れがさらに進む中、アドバイザーはどうすればよい?～」

…「[https://www.am.mufg.jp/text/oshirase\\_190520.pdf](https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_190520.pdf)」

2019年5月20日付InvestmentNews「Advisers on the Move: Latest trends in recruiting」…

「<https://www.investmentnews.com/article/20190520/FREE/190519958/advisers-on-the-move-latest-trends-in-recruiting>」

2018年11月28日付InvestmentNews「Independent broker-dealers fastest-growing brokerage group」…

「<https://www.investmentnews.com/article/20181128/FREE/181129950/independent-broker-dealers-fastest-growing-brokerage-group>」

②2019年4月24日付InvestmentNews「top independent broker-dealers ranked by revenue」…

「[https://www.investmentnews.com/article/20190424/BLOG18/190429980/2019-top-independent-broker-dealers-ranked-by-revenue?ite=57237&ito=724&itq=183e6d43-2387-4edb-9743-7f3597b30e0b&itx%5Bidio%5D=&itj\[idio\]=16450&CSAuthResp=1%3A573717374866447%3A660769%3A65%3A24%3Asuccess%3AF19468984C11AD79368291AD74469C57](https://www.investmentnews.com/article/20190424/BLOG18/190429980/2019-top-independent-broker-dealers-ranked-by-revenue?ite=57237&ito=724&itq=183e6d43-2387-4edb-9743-7f3597b30e0b&itx%5Bidio%5D=&itj[idio]=16450&CSAuthResp=1%3A573717374866447%3A660769%3A65%3A24%3Asuccess%3AF19468984C11AD79368291AD74469C57)」

(2018年4月21日付InvestmentNews「Top 10 IBDs ranked by revenue」…

「<https://www.investmentnews.com/article/20180421/FREE/180429998/top-independent-broker-dealers-ranked-by-revenue>」

InvestmentNews「Top independent broker-dealers by revenue and payout」

…「<https://www.investmentnews.com/article/20170423/BLOG18/170429986/top-independent-broker-dealers-by-revenue-and-payout>」

InvestmentNews「Broker-dealer Data Center」…「<https://data.investmentnews.com/broker-dealer-data/rankings>」

2019年5月22日付LPL Financial Holdings…「<https://investor.lpl.com/events/event-details/lpl-investor-analyst-day>」

2019年5月22日付InvestmentNews「LPL expanding platform to include employee brokers」…

「<https://www.investmentnews.com/article/20190522/FREE/190529976/lpl-expanding-platform-to-include-employee-brokers>」

2019年2月25日付Business Insider「SoFi plans first no-fee exchange-traded-funds」…

「<https://www.businessinsider.com/sofi-plans-first-no-fee-exchange-traded-funds-2019-2>」

2019年4月25日付InvestmentNews「Raymond James adds advisers in first quarter, but warns of possible slowdown」…「<https://www.investmentnews.com/article/20190425/FREE/190429956/raymond-james-adds-advisers-in-first-quarter-but-warns-of-possible>」

2019年4月24日付Raymond James Financial Services

…「<https://www.raymondjames.com/-/media/rj/dotcom/files/our-company/news-and-media/2019-press-releases/rjf201904242q-earnings.pdf>」

2018年3月14日付J.D. Power「2019 U.S. Full Service Investor Satisfaction Study」…

「<https://www.jdpower.com/business/press-releases/2019-us-full-service-investor-satisfaction-study>」

③Commonwealth Financial Network…「<https://www.commonwealth.com/story/different.aspx>」

2018年11月9日付InvestmentNews「Broker-dealer CEO sees rapid escalation of brokers abandoning commissions in favor of fees」

…「<https://www.investmentnews.com/article/20181109/FREE/181109938/broker-dealer-ceo-sees-rapid-escalation-of-brokers-abandoning>」

- 2018年11月13日付 InvestmentNews「Commonwealth Financial Network to launch parallel business for RIAs」…「<https://www.investmentnews.com/article/20181113/FREE/181119955/commonwealth-financial-network-to-launch-parallel-business-for-ribs>」、
- 2019年2月26日付 InvestmentNews「Two IBDs look at technology differently」…「<https://www.investmentnews.com/article/20190226/FREE/190229938/two-ibds-look-at-technology-differently>」、
- 2018年6月28日付「2018 U.S. Financial Advisor Satisfaction Study」…「<https://www.jdpower.com/business/press-releases/2018-us-financial-advisor-satisfaction-study>」。
- ④2018年3月23日付 Wealth Management「The Insurance-Owned IBD Model is Far From Extinct」…「<https://www.wealthmanagement.com/business-planning/insurance-owned-independent-brokerdealer-model-far-extinct>」
- ⑤2019年2月19日付 InvestmentNews「Robert Moore, Cetera CEO, stepping down for health reasons」…「<https://www.investmentnews.com/article/20190219/FREE/190219925/robert-moore-cetera-ceo-stepping-down-for-health-reasons>」、
- 2013年1月2日付 Cetera Advisor Networks「Cetera Completes Name Changes Under New Brand Structure」…「<https://www.ceteraadvisornetworks.com/media/cetera-completes-name-changes-under-new-brand-structure>」、
- 2018年3月14日付 InvestmentNews「Cetera Ron Carson: I'll leave Cetera if it's sold to LPL」…「<http://www.investmentnews.com/article/20180314/FREE/180319967/ron-carson-ill-leave-cetera-if-its-sold-to-lpl>」、
- 2017年1月22日付 InvestmentNews「Ron Carson reveals friction with LPL led to move to Cetera」…「<http://www.investmentnews.com/article/20170122/FREE/170129993/ron-carson-reveals-friction-with-lpl-led-to-move-to-cetera>」、
- 2010年5月8日付野村資本市場クォーターリー 2010年春号「米国リテール証券アドバイザーの多様化とLPLの成長戦略」…「<http://www.nicmr.com/nicmr/report/repo/2010/2010spr09web.pdf>」。
- 2019年4月22日付日本版ISAの道 その263「アドバイザーのフィーにサブスクリプション(リタイナー)・フィー!? 革新を生んだ『ウォール街のメーデー』に匹敵するシュワブの戦略～バンガード vs フィデリティ vs シュワブ～」…「[https://www.am-mufg.jp/text/oshirase\\_190422.pdf](https://www.am-mufg.jp/text/oshirase_190422.pdf)」、
- 2019年5月20日付日本版ISAの道 その265「『米国ウェルスマネジメント最新動向』～史上初のネガティブ・フィー・ファンド! フィデリティがインハウスで貸株!! モデル・ポートフォリオにモーニングスターが参入しバンガード・フィデリティ・ブラックロックが参加!!! コスト低下やFD強化の流れがさらに進む中、アドバイザーはどうすればよい?～」…「[https://www.am-mufg.jp/text/oshirase\\_190520.pdf](https://www.am-mufg.jp/text/oshirase_190520.pdf)」、
- 2019年5月23日付 SEC ホームページ「Sunshine Act Meeting Notice: Open Meeting on Wednesday, June 5, 2019, at 10:00 a.m.」…「<https://www.sec.gov/news/openmeetings/2019/ssamtg060519.htm>」、
- 2019年3月25日付日本版ISAの道 その260「米国では最善の利益、フィデューシャリー・デューティーの論争真っ只中!～SEC・共和党・証券業界・商工会議所等 vs 下院・民主党・民主党寄りの州(ニュージャージー州、ネバダ州、メリーランド州)～」…「[https://www.am-mufg.jp/text/oshirase\\_190325.pdf](https://www.am-mufg.jp/text/oshirase_190325.pdf)」。
- 三菱UFJ国際投信【投信調査コラム】日本版ISAの道 バックナンバー…「<https://www.am-mufg.jp/market/report/investigate.html>」。

#### 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 当資料は日本版ISA(少額投資非課税制度、愛称「NISA/ニーサ」)に関する考え方と情報提供を目的として、三菱UFJ国際投信が作成したものです。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料に示す意見等は、特に断りのない限り当資料作成日現在の筆者の見解です。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡す最新の投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認ください。
- クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。
- 投資信託は、ご購入時・保有時・ご換金時に手数料等の費用をご負担いただく場合があります。